日立過熱水蒸気オーブンレンジ　型式 MRO-DS8

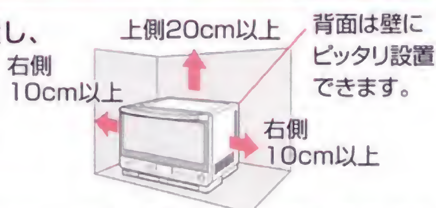
カンタンご使用ガイド

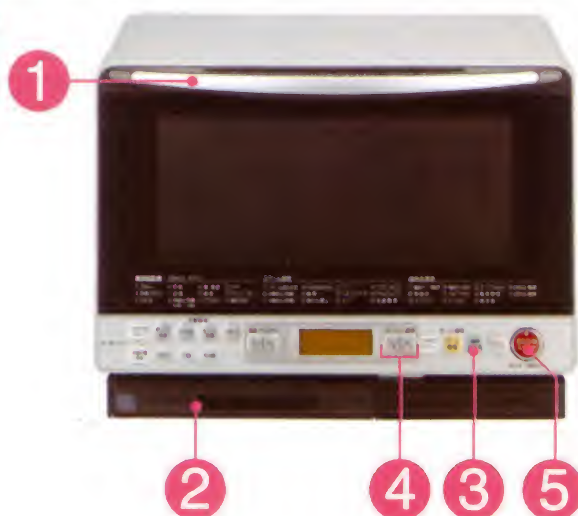
詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。
➔ P.○○ このマークは「取扱説明書」の記載ページです。

初めてお使いになるときの準備

1 壁などとの間をあけて設置し、アースを取り付ける

安全上のご注意 ➔ P.6、7
をお読みになり正しく設置してください。





2 グラムポジションシステム(食材の分量·位置検出)の0点調節をする

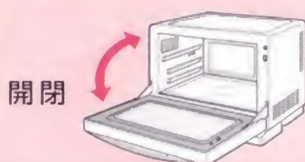
❶ 差込プラグをコンセントに差し込み、一度ドアを開ける
電源が入り、表示部に「0」が表示されます。

❷ 加熱室底面にテーブルプレートをセットする

❸ ドアを閉めて [とりけし] を3秒以上押し続ける
「ピッ」とブザーが鳴り、数秒後、0表示で0点調節が終了します。 ➔ P.16

オート調理の使いかた (スペアリブの例) ➔ P.21、27、60

1 ドアを開ける



ドアを開けると電源が入ります

差込プラグをコンセントに差込んだだけでは電源が入りません。待機時消費電力オフ機能が動作中です。
電力を節約するため、ドアを閉めて約10分間操作が無いと自動的に電源を切り、表示部の「0」も消え、キーを押しても受け付けません。ドアを開閉すると電源が入り、表示部に「0」が表示され、キーを受け付けます。

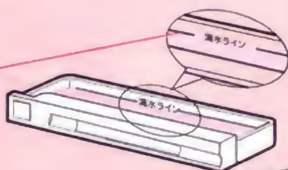
0点調節のお願い

●**日常ご使用の際も、ときどき0点調節を行ってください。**
調理を上手に仕上げるためです。 ➔ P.16

2 水道水を給水する

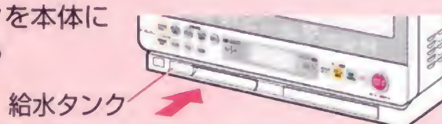
1 給水タンクを本体から引き出す

2 ふたを開いて給水する



3 ふたを閉める

4 給水タンクを本体にセットする



●使用する水は塩素消毒された水道水をご使用ください。浄水器の水、ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水はスチームの噴出口が詰まることがあります。
●水は満水ラインまで入れ、本体にしっかり奥まで差し込んでください。
●給水タンクはご使用するたびに水で洗い、新しい水を入れてください。
●室温5℃以下では使用しないでください。
●給水タンクには水以外入れないでください。
●スチームを使わないときも給水タンクを本体にセットしてください。

3 [過熱水蒸気] を押す

4 [メニュー選択 ∨|∧] メニューを選ぶ

キーを押し、
「29 スペアリブ」を選ぶ

5 [あたためスタート] を押す

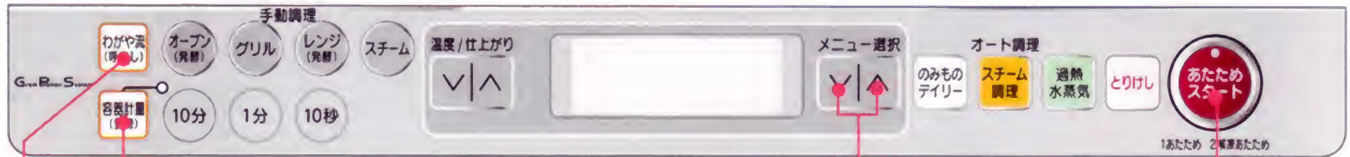
終了音が鳴ったら **食品を取り出す**

●調理終了後は給水タンクの残水を捨て、パイプの水抜きを行ってください。 ➔ P.47
●加熱室の温度が冷えてから、加熱室内に付着した水滴を拭きとってください。

手動調理の使いかた ➔ P.34〜43

わがや流あたためめの使いかた

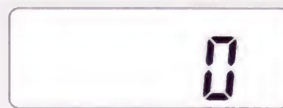
お手持ちの容器の重さを登録する

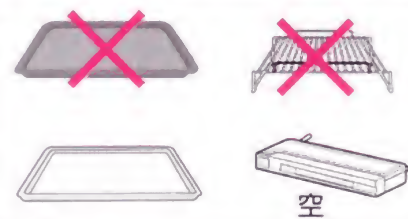


5 1 3 2 6 7

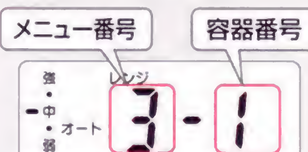
※「3ごはん」の容器を1に登録し、その後、登録した容器であたためる場合。

準備 登録したい空の容器を庫内に置きドアを閉める

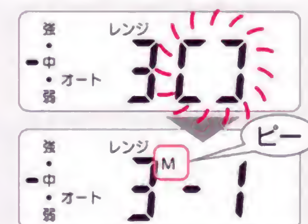




1 容器計量(登録) を押す



2 メニュー選択 を押し、「メニュー番号」と「容器番号」を選択する



3 容器計量(登録) を押す

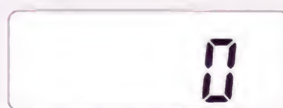
●約6秒後、「ピー」と鳴ったら容器の計量が終わり、表示部に「M」が表示されて、登録が終わります。

登録できるメニューと容器の数

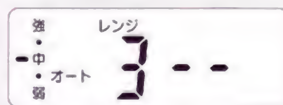
メニュー番号	容器番号
3 ごはん	1〜4
4 冷凍ごはん	1〜2
5 おかず	1〜4

登録した容器を使ってあたためる

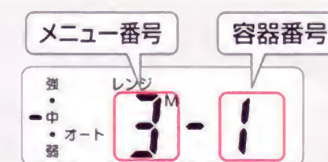
4 登録した容器に食品を入れ、庫内に置きドアを閉める



5 わがや流(呼出し) を押す



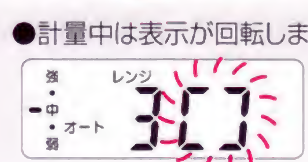
6 メニュー選択 を押し、登録した「メニュー番号」と「容器番号」を選択する



7 あたためスタート を押す

●終了音が鳴ったら食品を取り出す。

●計量中は表示が回転します。



温度/仕上がり を押し、お好みにより希望の仕上がりに調節する

●仕上がり調節も登録されます。

●計量が終わると、食品重量(10g単位)を表示します。(約3秒間)



●終了までの時間を表示します。



●終了すると「0」表示に戻ります。

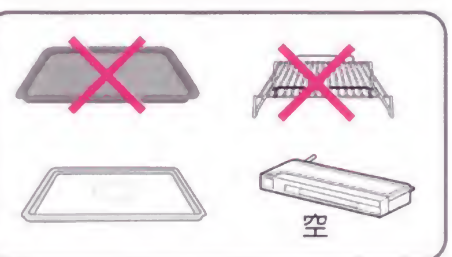
わがや流あたためは、自分のお好みにあたためる機能です。
お好みに仕上げるため、使いかたに応じて以下の操作手順で行ってください。

お手持ちの容器の重さを登録しないであたためる



※登録してない茶わんで「4冷凍ごはん」をあたためる場合。

準備 使う空の容器を、庫内に置き、ドアを閉める



1 わがや流（呼出し）を押す

2 メニュー選択 ∨|∧ を押し、「メニュー番号」と「-」を選択する

メニュー番号

登録しない場合は「-」を選択。

温度/仕上がり ∨|∧ を押し、お好みにより希望の仕上がりに調節する

3 容器計量（登録）を押す

●約6秒後、「ピー」と鳴ったら容器の計量が終わりです。

ピー

ドアを開け、計量した容器に食品を入れ、ドアを閉める。

4 あたためスタートを押す

●終了音が鳴ったら食品を取り出す。

●計量中は表示が回転します。

●計量が終わると、食品重量（10g単位）を表示します。（約3秒間）

●終了までの時間を表示します。

●終了すると「0」表示に戻ります。

登録した容器のメモとしてお使いください。

●登録した内容を修正する際は同梱の「のり付きメモ用紙」を貼付けてください。

容器番号	メニュー		
	3 ごはん	4 冷凍ごはん	5 おかず
1			
2			
3			
4			

●3ごはんは常温、5おかずは冷蔵を基準に加熱時間を設定しています。
●冷蔵のごはん、常温のおかずは 1あたため で加熱します。
●常温は約20℃、冷蔵は約0～約5℃、冷凍は約-18℃を基準にしています。

 突然の沸騰に注意 → P.8

●飲み物（水、牛乳、お酒、コーヒー、豆乳など）やカレーやシチューなどとろみのあるもの、油脂分の多い生クリーム、バターなどは、加熱中や加熱後に突然、沸騰して飛び散ることがあります。
やけどにご注意ください。

●開口が細い容器は特に注意し、小さなカップ、マグカップも注意してください。
●飲み物は加熱前にかき混ぜてください。



 やけどに注意

●オーブン調理・グリル調理・スチーム調理およびお手入れの脱臭と水抜きの後は、本体内外や加熱室が高温になります。
やけどにご注意ください。

こんなときは

こんなときは故障ではありません、次のことをもう一度確認してください。

修理を依頼される前に次の点および取扱説明書をもう一度お調べください。→ P.48~53

現　象	原　因
電源が入らない 時々電源が入らない	●ドアを開閉し、表示部に「0」が表示され操作キーを受け付けるか確認してください。 （待機時消費電力オフ機能が働くと表示部の表示が消え、キーを受け付けません）
冷凍したごはんやお総菜などがうまくあたたまらない	●容器（平皿）にのせて加熱してください。容器（平皿）を使わないでラップに包んだままの状態で加熱すると、あたたまりません。 容器の大きさは、食品を入れたとき、八分目くらいになる大きさが適当です。 ●わがや流で登録した容器を用いてあたためると、適温に加熱できます。
レンジのとき 火花（スパーク）がでる	●角皿(黒色ホーロー皿)を入れ、「あたため」や「レンジ」で加熱していませんか ●焼網にアルミホイルを敷いて加熱していませんか ●テーブルプレートや焼網などに食品カスがついていませんか
はじめてオーブンを使ったとき煙がでた	●加熱室防錆のため油を塗っています。はじめてお使いのときは、空焼きをして油をとってください。 → P.16
加熱中、表示部やドアがくもったり、水滴が落ちる	●メニューによって食品から出た水分が水蒸気となり、表示部やドアの内側がくもることがあります。 ドアの内側などに露がつき、床に落ちたときは、ふきんで拭きとってください。
加熱室内に水滴が付着する	●スチーム調理やメニューによって食品から出た水蒸気が加熱室壁面に水滴として付着します。水滴はこまめにふきとってください。 → P.52
調理が終了してもファンの風切り音がする	●とりけしキーを押したときや調理終了後、電気部品を冷却するためファンが回転する場合があります。
セットした温度が途中で変わることがある	● オーブン のとき、250℃の運転時間は約5分です。その後は自動的に210℃になります。
250℃に設定できないことがある	●加熱室が熱い場合の最大設定温度は210℃になります。